

■日時 平成23年8月19日(金)・20日(土) ■天候 曇後雨・曇

師友塾高校・通 対 岡山県立烏城高校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 2時間46分 ■備考 延長12回 (タイブレイク方式)

■審判 球審:安藤 塁審:橋本 江口 進士 大会特別規定により8月20日に特別継続試合として6回裏から再開

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	安	失
烏城	東中国・岡山	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5	8	4	2
師友塾・通	西中国・広島	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3	5	6

烏城		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	安	失
1	捕	高原 恭平	4	1	0	0	三飛		三振			三振		三振							
2	右	山崎 勇人	3	1	0	0	三振			四球			三振		三振						
3	遊	田野口 凌	6	1	1	3	投ゴ			二併					一失		一ゴ		中安		
4	投	大崎 光士郎	5	3	3	2		四球		右安			中本		投ゴ	二ゴ			右安		
5	一	高原 孝太	5	0	0	0		捕犠			三振		投飛		一失	二ゴ			捕飛		
6	二	平野 裕己	5	0	0	0		三ゴ			投ゴ				三振	三振			二ゴ		
7	三	石川 友貴	3	0	0	0		投ゴ			三振				三振						
8	左	岡田 篤樹	3	0	0	0			三ゴ			中飛		遊失							
9	中	福池 翔	3	2	0	0			二ゴ			三振		三失							
合計			37	8	4	5	残塁:8		併殺:1												
備考																					

■バッテリー

投手
大崎 光士郎

捕手
高原 恭平

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
大崎 光士郎	12	43	5	11	4	1

師友塾・通

ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	安	失	
1 捕	力 武 充	4	0	0	0	遊ゴ		二ゴ		四球		三振		投飛							
2 遊	福島 龍二	3	0	0	0	二ゴ			投ゴ	投犠		三振									
3 二	増田 徳彦	6	1	1	1	遊ゴ			二失	三振		右安				二選	三振				
4 三	坂本 光平	7	1	1	0		中飛		右2	遊ゴ		二ゴ			三振	三ゴ	遊ゴ				
5 投	弦巻 陽平	5	0	1	2		捕邪		右安		捕飛		三ゴ			三振					
6 中	上島 巧也	3	0	0	0		三ゴ		四球		捕邪		三振								
7 一	白川 漢太	4	0	1	0			二ゴ	三振		中安		投ゴ								
8 右	小川 政紀	2	0	0	0			死球	三振		四球			三振							
9 左	茂田 諒治	3	1	1	0			投犠		左2	三振			投ゴ							
合計			37	3	5	3	残塁:16		併殺:0												
備考																					

■バッテリー

投手
弦巻 陽平
福島 龍二

捕手
力 武 充

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
弦巻 陽平	3 0/3	11	0	2	2	0
福島 龍二	9	29	4	10	0	2

■戦評

2回戦で立川にコールド勝ちし勢いに乗る師友塾と戸塚に競り勝った烏城との対戦。2回表烏城はこの回先頭4番大崎が四球で出塁し5番高原孝が丁寧を送る。6番平野への2球目がワイルドピッチとなり二塁走者大崎が三塁を狙い捕手からの送球が逸れる間に一気に本塁を陥れ1点先制。一方の師友塾は4回裏一死後3番増田が敵失で出塁。4番坂本が右中間二塁打を放ち一死二・三塁とし5番弦巻の右前適時打で二者を迎え入れ逆転に成功。烏城は3回から6回まで師友塾先発弦巻と4回途中から代わった2番手福島に三人ずつに打ち取られチャンスを作れない。師友塾は5回に一死二・三塁のチャンスを作るも烏城先発大崎に後続を絶たれ無得点。6回裏師友塾攻撃中この試合途中から降り出した雨脚が急に強まり二死二・三塁打者9番茂田1ボールで中断。その後回復の見込みがないため大会特別規定により翌日特別継続試合となった。迎えた翌日中断した状態から再開する特別継続試合で茂田を三振に打ち取りピンチを凌いだ烏城は7回表二死後4番大崎が中堅越ランニング本塁打を放ち2-2の同点に追いつく。勢いづいた烏城は8回9回と敵失で走者を出すも無得点。師友塾は8回9回と同点本塁打を放った大崎に三人ずつに打ち取られ延長戦に突入する。一死満塁で任意打者から始めるタイブレイク方式の特別ルールが採用され10回は両チームとも4番打者からの攻撃が無得点。11回表烏城は3番田野口からで内野ゴロの間に1点を奪う。その裏師友塾も3番増田からで同じく内野ゴロの間に1点を奪い再び同点。息詰まる攻防は12回表3番田野口からの攻撃でまず中前適時打で二人が返る。続く4番大崎も右前適時打で1点追加すると師友塾守備陣の緊張の糸が切れたかのようにワイルドピッチ、悪送球でもう2点追加し8-3と引き離す。12回裏師友塾は3番増田からの攻撃も三振とショートゴロで万事休す。2日間、延長12回に渡る激戦を制した烏城が準決勝進出を決めた。